

猫と触れ合い 「いい」目細める



県動物保護協会東部支部は27日、犬や猫と触れ合う「ふれあい訪問活動」を沼津市小諏訪の老人ホーム「青空」で行った。入所者23人が、愛らしい柴犬や日本猫などと癒やしのひとときを過ごした。

同協会のボランティアが飼っている動物13匹が施設を訪れると、利用者の笑顔

動物と交流する入所者
＝沼津市の老人ホーム
「青空」

が広がり、和やかな雰囲気にも包まれた。日本スピッツと戯れた栗本竹市さん(89)は「子どもの頃に動物をたくさん飼っていた。かわいくてたまらない」と目を細めた。

訪問活動は、施設利用者に心の安らぎを与えるとともに、利用者同士の交流促進を図るのが狙い。青空の管理者を務める深沢真有美さんは「皆さんが生き生きとした表情になり、良い刺激になった」と話した。